

南山宗教文化研究所所蔵静坐社資料

解説と目録

栗田英彦

KURITA Hidehiko

2016年4月末、京都大学吉田キャンパスの裏手に佇むある洋館が解体された。その入り口に掲げられた表札には、「静坐社」の文字が刻まれていた。

今から約90年前、静坐社は小林信子（1886-1873）という名の女性によって設立された。信子の夫、小林参三郎（1863-1926）は、仏教系の慈善病院・濟世病院の院長であった。彼は、当時人気を博していた「岡田式静坐法」を医療に応用して、患者のために毎朝病院にて静坐会を開いていた。参三郎に頼まれて濟世病院で静坐指導を手伝っていた信子は、彼の逝去後、その遺志を継いで静坐社を発足させたのである。

彼女にとって、岡田式静坐法は単なる健康法を超えた意味があった。参三郎から引き継いだ遺志はもちろんのこと、岡田式静坐法そのものが、そうしたものを含んでいたのである。岡田式静坐法には、創始者の岡田虎二郎（1872-1920）が定めた呼吸法と坐法があり、指導者に付いてそれを実践することがすべてである。岡田の口から静坐の意味が詳しく説明されることはなく、強いていえばそれは「ゼロ」や「自然」であった。だが、それゆえにこそ、万教、万物に通底する道理と根本的活力への門戸とみなされ、大学生や芸術家や教育者や実業家など、多くの人々が岡田のもとに集っ

た。大正期には、岡田の指導する静坐会が東京だけで77ヶ所¹を数えるほどに隆盛したのである。しかし、1920年（大正9）に岡田が急逝すると静坐会の数は激減してしまう。代わって昭和初期に活発な活動を始め、岡田式静坐法のムーブメントを新たに展開したのが、京都静坐社であった。

静坐社の活動は、単なる静坐会の開催にとどまるものではない。例えば、機関誌『静坐』の発行によるメディア展開は、重要な意義をもった。これによって静坐に関する思想的な厚みが増しただけでなく、静坐会のネットワークが全国各地に広がり、一時は朝鮮、台湾、中国、満州にも及んだ。この点で、東京中心であった大正期とは大きく異なっている。さらに小林信子という人物の特性によって、京都静坐社には社交性と国際性もたらされた。英語に堪能であった信子は、京都に来る多くの外国人と交流を持っていた。そして、彼女

1. 静坐会の数は、岡田虎二郎の大正3年の書簡によれば、127ヶ所とある（田原静坐会編『岡田虎二郎先生より令弟井上嘉三郎氏宛書簡集』田原静坐会、1972年、31頁）。だが、直弟子の岸本能武太が数えた所、毎週巡回する静坐会場は77ヶ所だったという（岸本能武太『岡田式静坐の新研究』大日本文華、1921年、546-549頁）。岸本は実際にその77ヶ所のリストを挙げており、その数字には信頼性がある。岡田の述べる127ヶ所は、不定期で指導する静坐会を含めていたと考えることもできるかもしれない。ここでは、はっきりと分かっている定期的な巡回場所の数として、77ヶ所とした。

の社交的な性格によって、その周囲は京都社交界における中心的サロンのひとつとして機能することになった。静坐社には、宗教者、教育者、文学者などが集い、独特の宗教的かつ教養的な香りを醸し出していたのである。

すでに、静坐社の所蔵していた主な蔵書については、国際日本文化研究センターに寄贈されている。その蔵書目録と静坐社の基本的な情報は、寄贈時に執筆した資料紹介「国際日本文化研究センター所蔵静坐社資料——解説と目録」(『日本研究』47号、2013年)を参照していただきたい(以下、「日文研資料解説」と略する)²。また、静坐者の所蔵していた掛け軸、屏風、和額などの資料は、大谷大学博物館に寄託され、現在目録を作成中である。ここには金子大榮(1881-1976)や松本良順(1832-1907)の墨跡等が含まれている。これらの資料は非常に貴重だが、静坐社の人脈と活動の詳細を探るためには、書簡の分析が欠かせない。書簡類はこれまでの調査でも収集、整理してきたが、静坐社の建物の解体にともなって、まとまった量のものが発見された。また、数十冊の蔵書もあらたに見つかった。小林参三郎や小林信子の葬儀における芳名帳や香奠帳³、さらに戦前の静坐会の様子を生き

2. この場を借りて、この論文の記述について、いくつか訂正しておきたい。まず、242頁下段に東大教授で岡田虎二郎のもとで参座したものとして「寛克彦や福来友吉」と記したが、福来は妻に命じて参座させたが、本人が参座したかどうかは不明である(笹村草家人『静坐——岡田虎二郎その言葉と生涯』私家版、1974年、261頁)。また、小林信子がミラに招待されてインドのオーロピンド・アシュラムに訪問した年について、249頁に1959年(昭和34)と記したが、その後の調査で1960年(昭和35)であることがはっきりした(『后記』『静坐』286号、1960年)。最後に、255頁の注25には、「住友財閥の岩崎野康弥」とあるが、正しくは「三菱財閥の岩崎康弥」の誤記である。

3. 資料番号：SSo287～SSo289、SSo91(その他No.)

生きと伝える写真集も見つかった⁴。これらは、特に国内の人脈を網羅的に把握するのに最適な資料だといえよう。なお、書簡類には新村出(1876-1967)の執筆した原稿やはがきが合計6点含まれていたが、こちらは新村出記念財団に寄贈されることとなった。

以上のものを含む静坐社資料が、このたび南山宗教文化研究所の図書室に寄贈されることとなった。本稿は、南山大学宗教文化研究所所蔵静坐社資料の全目録を報告するものである。まず、書簡整理の過程でわかった新発見事項を紹介することで、本資料の価値の一端を示しておきたい。

いくつかの注目すべき発見

本資料の目録を作成する過程で、さまざまな発見があった。それらは、さらなる精査を必要とするが、取り急ぎ、トランスナショナルな宗教史において特筆すべきものをここに記しておきたい。

まず、ミラ・アルファッサ(Mirra Alfassa, 1878-1973)に関する資料が見つかった。ミラは、近代霊性運動の越境性を体現するような人生を送った人物である。複数の民族的アイデンティティーを持ってフランスに生まれ、いくつかの国境を越え、いくつかの霊性運動に関わり、最後にインドの元独立運動家でヨガ指導者となったオーロピンド・ゴシュ(1872-1950)の霊的パートナー「マザー」として、オーロピンド・アシュラムの運営と指導に関わり、その地で没した。彼女は、1916年から1920年まで日本に滞在しており、そのうちの1917年から1919年頃に京都に住んでいた。その短い間に、ミラと信子は二人で一緒に瞑想(信子は静坐、ミラはヨガ)を実践するなど、

13、34～36)

4. 資料番号：SSo292(その他No.66)

非常に親密になり、その交流は戦後にも及んだ。1960年（昭和35）2月、ミラの招待で信子はオーロピンド・アシュラムに訪問している。「マザー」となる前のミラの行動や人脈を知る資料が少ないなかで、静坐社資料に含まれる書簡はそれを補うために貴重な資料だといえる。

ミラに関連する人物として、イルマ・ド・マンツィアリ（Irma de Manziarly）の書簡があった。彼女は、アディヤールを本部とする神智学協会の影響下にあり、ジッドゥ・クリシュナムルティ（Jiddu Krishnamurti, 1895-1986）とも親交の深い神智学徒だが⁵、書簡からミラのフランス時代の友人であったことが分かった。マンツィアリが日本に赴くとき、ミラは信子に会うように勧めていた。どうやらマンツィアリに神智学協会とは違った思想にふれさせたかったらしい。一方、マンツィアリから信子宛の書簡によれば、彼女は京都で女権運動家を探しており、信子にそうした人物はいないか尋ねている。小林信子、ミラ、神智学徒マンツィアリのそれぞれ思惑が、どの程度重なり、どの程度すれ違いがあったかは、今後の調査を要する。いずれにせよ、ここには、多様な思惑が絡み合いながら、国境を超えて広がっていく、靈性思想のネットワークの特徴がよく現れている。

さらに今回寄贈される静坐社資料からは、仏教学者の鈴木大拙（1870-1966）とその夫人ビアトリス（Beatrice Suzuki, 1878-1939）に関する新しい知見が得られた。「日文研資料解説」でも論じたように、鈴木大拙とビアトリスは、小林信子と交流があった。大拙は、禅と静坐の関係を相補的なものと考えていたらしく、禅病に陥った外国人の参禅者に静坐社へ行くことを勧めていたのである。一方で、大拙と

5. Mary Lutyens, *J. Krishnamurti: A Life*, Penguin Books, 2005, pp. 117-138.

ビアトリスは京都の神智学協会支部である「大乘ロッジ」（Mahayana Lodge）のメンバーでもあった。そちらと静坐社との関係を裏づける資料がこれまでなかったが、今回の資料に、信子を大乘ロッジの会合に誘うビアトリスからのメモが見つかった。

鈴木大拙の斡旋で静坐社と繋がりを持った外国人のなかに、アメリカで禅の普及に努めたルース・フルー・佐々木（Ruth Fuller Sasaki [Everett], 1892-1967）や仏教書の英訳で知られるアメリカ人仏教者ドワイト・ゴダード（Dwight Goddard, 1861-1939）がいた。本資料に含まれる両者の書簡からは、この界隈の交流の詳細を知ることができる。それは、アメリカ仏教史や鈴木大拙研究に対して、従来とはまったく異なった角度から見直すための材料を提供している。

一例を挙げよう。著作でたびたび鈴木大拙への謝意を示しているドワイト・ゴダードは、大拙の影響下にあつて協力的な関係を築いていたと考えられることが多い。しかし、本資料の書簡から、1930年代のゴダードと鈴木大拙は、英訳版の大乘起信論（Awakening of Faith）の出版をめぐる衝突があつたことが分かった。ゴダードが独自に大乘起信論の抄訳版を出そうとしたところ、大拙が出版社に働きかけてそれを止めたのだという。それ以来、ゴダードは大拙夫妻に不信感を持つようになり、ルース・佐々木（当時のファミリーネームはエバレット）が大拙に謝意を抱いていることについても、「エバレット夫人は、大拙夫妻が自分たちの利益のために彼女を利用していることを分かっていない」⁶と手紙でこぼしていた。この衝突にはさまざまな事情があつたと思われるが、少なくとも両者の仏教の理解と普及戦略における違いがあつたと予想することができる。そして、そのような

6. 資料番号：SSo185（欧文書簡 No. 62）

かによって、大拙夫妻やゴダードにとって、小林信子と静坐社はいかなる存在だったのか。本資料のさらなる精査は、仏教と瞑想法の国際的展開の現実を探るために不可欠な作業だといえよう。

静坐社資料の基本情報

南山宗教文化研究所静坐社資料（全 538 点）は、以下の 4 種類に大別して整理した。

- | | |
|-----------|-------|
| 1. 欧文書簡 | 196 点 |
| 2. 和文書簡 | 210 点 |
| 3. 書籍・小冊子 | 37 点 |
| 4. その他 | 95 点 |

「欧文書簡」、「和文書簡」、「その他」の資料については、全て写真撮影やスキャンを行って電子化した。また「書籍・小冊子」のなかにも電子化したものがある。ファイル形式は、JPEG または PDF である。

電子化の際、それらの資料には一意の資料番号を付与し、それをもとに元資料の検索ができるようにした。資料番号のない蔵書類は、電子化されていないことを意味する。また、資料番号のなかには枝番が振られているものがあるが、その枝番は電子化ファイル（PDF）の頁番号を示している。

電子化ファイルの検索を容易にするために、資料番号を電子化ファイル名と紐付けた情報を記載したエクセルファイル（静坐社資料目録_DVD 版.xlsx）も作成した。電子化ファイルとそのエクセルファイルをまとめた DVD は、「南山宗教文化研究所静坐社資料電子版」と名づけて同研究所に寄贈した。ご活用いただければ、幸いである。

目録の凡例

各項目で、判読できなかった場合は疑問符（?）を付し、その項目が無い場合はハイフン（-）で表した。日付に関しては、執筆者の署名があればそれを、なければ消印などの情報から総合的に判断して記載した。

目録の順序に関しては、「欧文書簡」は差出人のアルファベット順、「和文書簡」は五十音順でソートし、同じ差出人では日付順で並べている。「書籍・小冊子」は、著者のアルファベット順・五十音順とした。「その他」は、関連事項のアルファベット順・五十音順で整理した。

注記

今回の静坐社資料の寄贈は、現在の静坐社当主の小林厚子氏のご厚意によるものである。本調査は、小林氏の研究に対するご理解とご協力なくしてなしえなかった。寄贈先については、南山宗教文化研究所所長の金承哲氏と第一種研究所員の奥山倫明氏にご相談したところ、同研究所にて快く引き受けていただけることとなった。改めて、小林厚子氏、金承哲氏、奥山倫明氏に厚く御礼申し上げます。また、本稿執筆の際、花園大学の師茂樹氏と京都大学人文科学研究所の菊地暁氏から助言をいただいた。記して謝意を表します。最後に資料の引き受け作業において、便宜をはかってくださった南山宗教文化研究所の事務スタッフに感謝をいたします。

なお、本稿は、JSPS 科研費 15J12590 の研究成果の一部である。

〈自頁以下に目録掲載〉

くりた・ひでひこ
日本学術振興会特別研究員

欧文書簡

No.	差出人	宛名	種別	日付	内容	備考	資料番号
1	Alfassa (Richard), Mirra	小林信子	便箋のみ	11/13/1917	Alcan Hirsch という日本政府に協力する科学者を助け、彼が家を見つけたらミラからも一緒に住むという。	東京・茗荷谷町から。	SSo257
2	Alfassa, Mirra	小林信子	封書	10/7/1922	小林参三郎の本を送られたけど読めない。ドロシー・メアリー・ホジソン(Datta)について。ヨガの話が出ている。爪楊枝について。	ボンデイシエリー(インド)から。	SSo226
3	Alfassa, Mirra	小林信子	封書	1/16/1923	神智学徒の Mrs. de Manziarily が京都に行くという知らせ。	ボンデイシエリー(インド)から。	SSo227
4	Ammann, Rozi	小林信子	絵葉書	8/9/1922		ベルン (スイス)から。	10103-40
5	Ammann, Rozi	小林信子	絵葉書	8/12/1923	チューリッヒでアマンのところに寄った成瀬無極も一筆書いている。	チューリッヒから。	SSo131
6	Ammann, Rozi	小林信子	絵葉書	11/30/1923	クリスマスカード。成瀬無極の状況を聞いている。	チューリッヒから。	SSo128
7	Ammann, Rozi	小林信子	封書	9/16/1931	写真同封。静坐誌がうまく行っていて喜ばしい。成瀬と山辺の話題。山辺はいまや大学では教えておらず、他の仕事で忙しくしている。成瀬のゴットフリート・ケラーの翻訳の話。	チューリッヒから。	SSo211
8	Ammann, Rozi	小林信子	絵葉書	7/28/1935	山辺習学と成瀬無極への挨拶を含む。	チューリッヒから。	SSo140
9	Ammann, Rozi	小林信子	絵葉書	4/21/1936		ジュネーブから。	SSo137
10	Ammann, Rozi	小林信子	封書	12/5/1937	成瀬無極と Yamada と呼ばれる教授 (山辺の誤記か?) の居場所を聞いている。	チューリッヒから。	SSo104
11	Beck, L. Adams	小林信子	便箋のみ	2/4/1922	『枕草子』 翻訳に関するやり取り。		10095
12	Beck, L. Adams	小林信子	便箋のみ	2/10/1922	『枕草子』 翻訳に関するやり取り。		10102-4
13	Beck, L. Adams	小林信子	便箋のみ	3/9/1922	『枕草子』 翻訳に関するやり取り。		10102-7
14	Beck, L. Adams	小林信子	便箋のみ	5/12/1922	『枕草子』 翻訳に関するやり取り。		10102-11
15	Beck, L. Adams	小林信子	便箋のみ	8/25/1922	『枕草子』 翻訳に関するやり取り。		10102-13
16	Beck, L. Adams	小林信子	便箋のみ	12/21/1922			10102-19

No.	差出人	宛名	種別	日付	内容	備考	資料番号
17	Beck, L. Adams	小林信子	便箋のみ	5/14/1923			10102-15
18	Beck, L. Adams	小林信子	便箋のみ	2/18/1924			10094
19	Beck, L. Adams	小林信子	便箋のみ	3/31/1924			10096
20	Beck, L. Adams	小林信子	便箋のみ	7/12/1928			SS0119
21	Beck, L. Adams	小林信子	封書	7/22/1928			SS0074
22	Beck, L. Adams	小林信子	封書	8/16/1928			SS0109
23	Beck, L. Adams	小林信子	郵便物受領書	11/28/1922 3/5/1923	受領書三枚。		10102-25
24	Bovard, Jack & Suzanne	小林信子	封書	12/11/1939	クリスマスカード		SS0077
25	Ch Jenelle - Parny ?	小林信子	封書	6/5/1923			10103-13
26	Cook, M. M.	小林信子	封筒のみ	?	M・M・クックは、大阪にあったランバース女学院の教授。		10099
27	de Manziarly, Irma	小林信子	封書	7/10/1923	de Manziarly は、ロシア移民でフランス在住。旧姓 Irma Luther。フランス人と結婚。ピートルスとも親交があった。信子に女性運動家が京都にいないかを聞いている。		10103-48
28	Everett, Ruth F.	小林信子	封書	8/20/1932	Mrs. Edward Warren Everett の名刺を同封。自分の家を Swan House と名づけている。		SS0222
29	Everett, Ruth F.	小林信子	便箋のみ	9/1/1932	写真同封。		SS0122
30	Everett, Ruth F.	小林信子	封筒のみ	9/9/1932	SS0122 の封筒と思われる。署名には Mrs. E. W. Everett とある。すなわち、Edward Warren Everett 夫人。		SS0142
31	Everett, Ruth F.	小林信子	封書	7/6/1933	10月に京都に行く。娘のエレノアが日本舞踊を習いたがっている。尼僧 Miss. Kojima とともに茶の勉強も始めた。		SS0204
32	Everett, Ruth Fuller (Sasaki)	小林信子	封書	10/12/1950			10059

No.	差出人	宛名	種別	日付	内容	備考	資料番号
33	Everett, Ruth Fuller (Sasaki)	小林信子	封書	2/1/1961	小林信子から「breathing lesson」を習ったことを非常に感謝している。	The First Zen Institute of America in Japan (龍泉庵)の封筒。	10103-28
34	Fairchild, Elizabeth	小林参三郎 小林信子	封書	4/25/?		Saint Paul's school, concord, N. H. (ニューハンプシャー)のプリント付便箋。	10103-10
35	Fairchild, Elizabeth & Sally	小林信子	グリーディングカード	-	クリスマスカード。		10103-42
36	Fairchild, Elizabeth & Sally	小林信子?	グリーディングカード	-	京都に行くのを楽しみにしている。		SS0210
37	Fairchild, Sally	小林信子	封書	6/28/1923		ミヤコホテルの便箋。	SS0197
38	Fairchild, Sally	小林信子	封書	7/2/1923		奈良ホテルの封書。	10103-56
39	Forman, Georgia M. G.	小林信子	封書	-	Happy holiday season の greeting		SS0046
40	G., Mabel	小林信子	封書	1/21/1933	Mabel Happer の知り合い。	東京から。	10082
41	G., Mabel	小林信子	封書	4/3/1948	Mabel Hopper が日本に行って信子に会いたがっている。	パシフィック・グローブから。	SS0083
42	G., Mabel	小林信子	絵葉書	-			SS0129
43	Getty, Alice	小林信子	便箋のみ	11/29/1937		ドイツから。	SS0145
44	Getty, Alice	小林信子	封書	9/27/?		フランスから? (切手より)	SS0103
45	Goddard, Dwight	小林信子	封書	10/31/1931		龍田丸から。	SS0190
46	Goddard, Dwight	小林信子	封筒のみ	4/11/1932		テットフォードから。	10054-1

No.	差出人	宛名	種別	日付	内容	備考	資料番号
47	Goddard, Dwight	小林信子	便箋のみ	6/14/1932	信子の家の立ち退きに関する問題の相談に乗っている。もともと大きな家を借りて、ゴダードとシェアする計画もあった。アメリカで仏法を弘める事業があるため、ゴダードからの継続的支援は難しい。仏教書の出版の難しさについても触れられている。もともとは二つの本だったものを一つにして「Buddhist Bible」のタイトルで自費出版する意向。また禅に関する雑誌も発行。新しい隠遁所を建てた。そこへ禅僧や信子に来てもらい、仏教的隠遁生活を始めたという夢がある。そこで信子には「静坐 still sitting」を教えて欲しい。	テットフォードか ら。便箋に Publisher and Dealer Buddhist Books とある。	10054-7
48	Goddard, Dwight	小林信子	便箋のみ	7/9/1932		テットフォードか ら。便箋に Editor of ZEN Magazine, Director of ZEN Hermitage, Union Village とある。	SSo250
49	Goddard, Dwight	小林信子	便箋のみ	8/11/1932		テットフォードか ら。	SSo252
50	Goddard, Dwight	小林信子	便箋のみ	8/29/1932		テットフォードか ら。	SSo251
51	Goddard, Dwight	小林信子	便箋のみ	9/20/1932		テットフォードか ら。	SSo249
52	Goddard, Dwight	小林信子	便箋のみ	10/2/1932		テットフォードか ら。	SSo248
53	Goddard, Dwight	小林信子	便箋のみ	10/9/1932		テットフォードか ら。	SSo247
54	Goddard, Dwight	小林信子	便箋のみ	10/19/1932		テットフォードか ら。	SSo246

No.	差出人	宛名	種別	日付	内容	備考	資料番号
55	Goddard, Dwight	小林信子	便箋のみ	12/13/1932	私たちは前世か来世でつながっている。信子が新しい家を得ることができそう。だが、ゴダード用の部屋がないのが残念。一緒に暮らしたかった。モリモトさんと連絡をとっている。鈴木大拙の Awakening of Faith Sutra を編集するつもりだった。だが、大拙からは同意されていないようで、現在保留中。直接中国語から翻訳できたらいいと思う。Ohasama 教授のドイツ語の本が翻訳された。Ohasama は鈴木やサンフランシスコの Sasaki と同じ、宗演・宗活の弟子。ビアトリス鈴木は、この本について良く知らないだろう。この本は非常に良い出来だが、禅の本は必要とされているのでジェラシーはない。エバレットやゴダード夫人から手紙があった。	テットフォードから。	10054-8
56	Goddard, Dwight	小林信子	便箋のみ	1/10/1933		テットフォードから。	SS0244
57	Goddard, Dwight	小林信子	便箋のみ	1/22/1933		テットフォードから。	SS0243
58	Goddard, Dwight	小林信子	便箋のみ	2/11/1933	信子の新しい家の地図をもらった。日本に行くときの話。大拙が大乗起信論の新訳を準備。自分も手伝うと手紙を出すつもりだけど、大拙は会わないだろう。自分の仕事は誇れるものだ。以前、他の国はアメリカを買おうとし、今は売ろうとしている。円福寺のゴジマカズコの話。神月老師のもとで修行。姉崎の別の本を読んだが、プリンクリーを取り寄せた。姉崎の本 (Life of the Japanese People) を読み直したのでわかりやすかった。	テットフォードから。	SS0241
59	Goddard, Dwight	小林信子	便箋のみ	2/23/1933	信子の家の写真ももらった。	テットフォードから。	SS0242

No.	差出人	宛名	種別	日付	内容	備考	資料番号
60	Goddard, Dwight	小林信子	便箋のみ	3/31/1933	大乘起信論 (Awakening of Faith) の草稿を完成した報告。世界恐慌による損害から、当面の日本や中国への旅行を断念した。エバレットは、禪の老師のところに行くため、通訳なしで日本語を話せるようになった。 注：Goddard 版の Awakening of Faith は、1938 年版の Buddhist Bible に加えられた。	テットフォードから。	SSoi183
61	Goddard, Dwight	小林信子	便箋のみ	4/10/1933	引き続き、世界恐慌の余波から京都行が遅れている。だが、それ以上に、ゴダードの新しい本に関する鈴木大拙の反応が問題だ。代わりに、中国人研究者の黄茂林 (Wong Mou-Lam) からセイロンに招待された。なので、セイロンに先に行つてから京都に行く。京都では、相国寺の老師とモリモト氏を訪ねたい。日本とアメリカの比較と、日本に対するシンパシー。信子の近くで暮らすことを夢見ている。若者に静坐を通じて影響を与える生活の素晴らしさを称賛。	テットフォードから。	SSoi184
62	Goddard, Dwight	小林信子	便箋のみ	4/26/1933	信子へ送った小切手について。日本行の計画は5月から7月に変更。禅は厳し過ぎて、ほとんど宗教ではない。それが一つの宗教になるには真宗が必要。エバレットにそう伝えてほしい。エバレットは鈴木夫妻に感謝しているが、彼らがいかに自分の利益のために彼女を利用してあるかが分かっていない。エバレットはいつかそれに気づいて、信子により感謝するようになるはずだ。ピアトリスは、ゴダードの大乘起信論の簡易版の出版に抗議し、出版には大拙の許可が必要だが、そのような許可を与えないと言っている。鈴木に役に立つかぎり彼らは親切にしてくれるが、独立して仕事しようとすると掌を返す。円福寺で修行していた Miss. Kojima は、ちょっと調子がよくないようで、円覚寺にまた千崎如幻いればよかった。また Kojima は信子にもっと会ってあげればよかった。	テットフォードから。	SSoi185
63	Goddard, Dwight	小林信子	便箋のみ	5/26/1933	旅行日程などについて。	テットフォードから。	SSoi186

No.	差出人	宛名	種別	日付	内容	備考	資料番号
64	Goddard, Dwight	小林信子	便箋のみ	11/15/1933		テットフオードから。	SS0245
65	Goddard, Dwight	小林信子	便箋のみ	1/1/1933	信子が新しい家に住む。鈴木 of the Awakening of Faith Sutra の翻訳は、鈴木に止められた。理由は、鈴木自身が翻訳する計画があるからである。そこにはピアトリスが、禅の唯一の権威としての鈴木 of the 栄光を損ねたくないという気持ちがあった(らしい)。ゴダードは鈴木 of the 著作の非体系的性に不満があった。しかし、結局は自分の勉強不足で、だから日本に行つてモリモトに会い、経典の勉強をする。それでピアトリスから独立できる。今年来たクリスマスカードを、小林に送る。	テットフオードから。	10054-10
66	H. M. N.	小林信子	便箋のみ	8/31/1931			10049
67	H. M. N.	小林信子	封書	-		Miyako Hotel の便箋。	SS0206
68	Happer, John Stewart	小林信子	封書	10/25/1914	John Stewart Happer (1863-1936) は、Mabel Bacon と 1915 年に結婚。東京へ移り、第一・第二早稲田高等学院で、夫婦ともに教師となる。John は死ぬまで東京にいた。(Jozef Rogala, <i>A Collector's Guide to Books on Japan in English</i> , Routledge, 2012) この書簡では、J. S. Happer が Mabel Bacon と拳式するところが伝えられている。	マニラから。	SS0228
69	Happer, John Stewart	小林信子	封書	9/25/1924		浅草から	10050
70	Happer, John Stewart	小林信子	封書	3/2/1925		シー・ホルスタイン商會内から	10067
71	Happer, John Stewart	小林信子	封書	3/6/1925			10066
72	Happer, John Stewart	小林信子	封書	3/7/1925			10065
73	Happer, John Stewart	小林信子	封書	3/27/1925			10064
74	Happer, Mabel Bacon	小林信子	封書	7/13/1919	Mabel Bacon Happer (1880-??, カリフォルニア生まれ)。静坐社で「ハッパバさん」と呼ばれた。John Stewart Happer の妻。著書に <i>The Students' Japan</i> (Hokuseidō Press, 1937) がある。	軽井沢から。	SS0202

No.	差出人	宛名	種別	日付	内容	備考	資料番号
75	Happer, Mabel Bacon	小林信子	便箋のみ	7/21/1920	SSo267 に同封されていた。日付は SSo267 に依拠。	軽井沢から。	SSo268
76	Happer, Mabel Bacon	小林信子	封書	7/30/1920		軽井沢から。	SSo267
77	Happer, Mabel Bacon	小林信子	封書	10/22/1920		東京赤坂区から。	SSo212
78	Happer, Mabel Bacon	小林信子	封書	8/8/1931		中華民国から。	SSo216
79	Happer, Mabel Bacon	小林信子	封書	11/19/1931	信子の育てている小さな子供たちに言及がある。		SSo271
80	Happer, Mabel Bacon	小林信子	封書	3/10/1933		日光から。	SSo272
81	Happer, Mabel Bacon	小林信子	便箋のみ	3/27/1933	SSo272 に同封。作成年は SSo272 に依拠。	東京から。	SSo273
82	Happer, Mabel Bacon	小林信子	封書	6/11/1937		日光から。日光金谷ホテルの便箋と封筒。	SSo221
83	Happer, Mabel Bacon	小林信子	封書	11/1/1937			SSo270
84	Happer, Mabel Bacon	小林信子	便箋のみ	3/25/1947	SSo111 に同封されていた。		SSo115
85	Happer, Mabel Bacon	小林信子	便箋のみ	6/25/1947	SSo111 に同封されていた。		SSo113
86	Happer, Mabel Bacon	小林信子	封書	7/16/1947		ヤヴァーランド (イギリス) から。ロンドン消印。	SSo094
87	Happer, Mabel Bacon	小林信子	便箋のみ	7/26/1947			SSo125
88	Happer, Mabel Bacon	小林信子	便箋のみ	8/4/1947	SSo111 に同封されていた。		SSo114
89	Happer, Mabel Bacon	小林信子	便箋のみ	9/16/1947	SSo107 に同封されていた便箋。Prof. Obata (小圃千浦), Mrs. Obata, Mrs. Fujita, Mrs. Abiko and Abiko Yasuo, Mr. Muller, Arthur Keller, Shidzue Hirase, Fuyu Kasama, Noboru Matsuki, 松木喜八郎 (美術商、広重の収集家), Tochie Sato などの名前が出ている。		SSo108
90	Happer, Mabel Bacon	小林信子	封書	11/29/1947		サンフランシスコから。	SSo098
91	Happer, Mabel Bacon	小林信子	封書	12/11/1947		サンフランシスコから。	SSo101
92	Happer, Mabel Bacon	小林信子	封書	12/26/1947	吉田本町の静坐社の場所から立ち退かされそうだった時の小林信子に対する励まし。Merchant Marines Library で働いている。その他、友人や近況のこと。	サンフランシスコから。	SSo080

No.	差出人	宛名	種別	日付	内容	備考	資料番号
93	Happer, Mabel Bacon	小林信子	封書	1/25/1948		サンフランシスコから。	SS0079
94	Happer, Mabel Bacon	小林信子	封書	1/29/1948		サンフランシスコから。	SS0097
95	Happer, Mabel Bacon	小林信子	封書	3/2/1948		サンフランシスコから。	SS0096
96	Happer, Mabel Bacon	小林信子	封書	3/20/1948		ロッテルダムから。	SS0078
97	Happer, Mabel Bacon	小林信子	封書	4/10/1948		ヤヴァーランド(イギリス)から。	SS0084
98	Happer, Mabel Bacon	小林信子	葉書	5/30/1948		ワイト島(イギリス)から。	SS0127
99	Happer, Mabel Bacon	小林信子	封書	8/9/1948	Happerの就職に関して。SCAPの人物と連絡を取っていた。	サンフランシスコから。	SS0082
100	Happer, Mabel Bacon	小林信子	封書	9/4/1948		ヤヴァーランド(イギリス)から。オックスフォード消印。	SS0095
101	Happer, Mabel Bacon	小林信子	封書	8/21/1949		サンフランシスコから。	SS0092
102	Happer, Mabel Bacon	小林信子	封書	9/2/1949	HapperからSCAPのDaniel Henry Blakeへの手紙のコピーの転送。日本への永住は、法律の変更を待ってからにすることをいうこと。	サンフランシスコから。	SS0102
103	Happer, Mabel Bacon	小林信子	封書	9/11/1949		サンフランシスコから。	SS0093
104	Happer, Mabel Bacon	小林信子	封書	10/4/1949		サンフランシスコから。	SS0081
105	Happer, Mabel Bacon	小林信子	封書	10/10/1949	信子が引越さなければならぬかを心配している。	サンフランシスコから。	SS0090
106	Happer, Mabel Bacon	小林信子	封書	10/21/1949		サンフランシスコから。	SS0088

No.	差出人	宛名	種別	日付	内容	備考	資料番号
107	Happer, Mabel Bacon	小林信子	封書	11/11/1949	Happer が、信子とともに京都の家に住むことができること。Kroll 夫妻と Reifsmider 夫妻のアドバイスにあるように、1950 年 4 月から東本願寺と西本願寺の女子学校で英語教師ができるように、両校長から取り計らってもらうこと。これらの条件が満たされたら、Happer は、アメリカを離れて日本に永住する計画を進めることができる。		SS0072
108	Happer, Mabel Bacon	小林信子	封書	11/22/1949		サンフランシスコから。	SS0100
109	Happer, Mabel Bacon	小林信子	封書	11/26/1949		サンフランシスコから。	SS0091
110	Happer, Mabel Bacon	小林信子	封書	11/29/1949		サンフランシスコから。	SS0089
111	Happer, Mabel Bacon	小林信子	封書	12/19/1949	Happer の就職に関して。京都に行くのは信子の静坐の仕事を手伝うため。	サンフランシスコから。	SS0099
112	Happer, Mabel Bacon	小林信子	封書	-	写真同封。		SS0201
113	Happer, Mabel Bacon	小林信子	絵葉書	?			10103-31
114	Happer, Mabel Bacon	小林信子	便箋のみ	?			10070
115	Happer, Mabel Bacon	小林信子	絵葉書	8/17/?			SS0124
116	Jaeger, Martha	friends - every where	便箋のみ	12/25/1960	Martha Jaeger は、L・ヴァン・デル・ポスト『かまきりの賛歌』(1987 年)において、重要な役割を果たす女性として登場する女性である。10103-23 に同封されていたクリスマスの挨拶。		10103-27
117	Jaeger, Martha	小林信子	封書	2/13/1961	小林信子が岡田式静坐法の英文著作を書くことを熱望し、金銭的支援を申し出ている。また、佐藤幸治から『サイコロジア』に寄稿することを頼まれている。そして鈴木太拙がインドへ、信子がボンディンチェリーへ行つたことを知っており、自分の本に、信子のことを書きたいと思っている。 クリスマスの挨拶 (10103-27) と小堀南嶺宗柏の手紙 (10103-26) を同封。	ニューヨークから。	10103-23

No.	差出人	宛名	種別	日付	内容	備考	資料番号
118	Kijima, Kazu	小林信子	封書	12/10/1932	SS00185 のゴダードの書簡に登場する人物。	円福寺から。	SS0203
119	Knapp, Daisy B.	小林信子	封書	4/27/1947	夫の名は、Laurence H. Knapp。	オークランドから。	SS0111
120	Knapp, Daisy B.	小林信子	封書	12/29/1947	SS0111 に同封されていた。	ポートランド (オレゴン州) から。	SS0112
121	Knapp, Daisy B.	小林信子	封書	6/7/1948		オークランドから。	SS0076
122	Knapp, Daisy B.	小林信子	封書	6/7/1949		ニューヨークから。	SS0087
123	Kobayashi, Nobuko	Beck, L. Adams	郵便物受領書	12/18/1923	カナダ宛ての郵便物の受領書。		10093
124	Kobayashi, Nobuko	宛名なし	葉書	-	静坐会への案内。戦中。		SS0045
125	Kobayashi, Nobuko	-	メモ	-	小林信子からアダムス・ベックへの手紙の下書きか。翻訳書のエピソードの依頼をしている。		10102-1
126	Kobori, Sohaku	Jaeger, Martha	便箋のみ	1/17/1961	10103-23 に同封されていた小堀宗柏の手紙。		10103-26
127	Kroll, Frederick W. (Mrs.)	小林信子	封書	9/11/1949	Happer の友人。東京で小林信子と会う。カリフォルニアに居住。執筆者は、Kroll 夫人。	サンフランシスコから。	SS0073
128	La Boiteux, Mary M. H.	小林信子	便箋のみ	3/1/1936			SS0120
129	La Boiteux, Mary M. H.	小林信子	グリーディングカード	?			SS0138
130	Lauru, Helen Hayes	小林信子	封書	11/21/1939	クリスマスカード。	モントリオールから。	SS0075
131	Lauru, Helen Hayes	小林信子	封書	4/7/1962	Mrs. C. H. Lauru の妻。再会を喜ぶ手紙。	メンローパーク (カリフォルニア州) から。	10080
132	Lauru, Helen Hayes ?	小林信子	封書	11/7/1931	SS0265 に同封。Pain の家族のために呼んでいた先生や注文した花についての心配している。	Miyako Hotel の便箋。	SS0266

No.	差出人	宛名	種別	日付	内容	備考	資料番号
133	Marden, Florence & Bill	-	グリーディングカード	-	Tibetan Lamas の写真と紹介文のついた特注グリーディングカード。		SSo135
134	Miles, Lois M.	小林信子	封書	8/11/1947	顔を出せなかったことのお詫び。	サンフランシスコから。アメリカ赤十字の封筒。	SSoo85
135	Miles, Lois M.	小林信子	封書	8/20/1947	小林信子を訪ねるといふ連絡。Happer への送るものを受け取る予定。	サンフランシスコから。アメリカ赤十字の封筒。	SSoo86
136	Miles, Lois M.	小林信子	便箋のみ	9/11/1947	信子とともにランチをした後の手紙。もてなしのお礼。	篠田山バラックから。アメリカ赤十字の便箋。絵入りの手紙も同封。	SSo106
137	Miles, Lois M.	小林信子	封書	10/3/1947	Happer からの手紙を信子に転送。10月14日に尋ねるところを伝えている。	アメリカ赤十字の便箋。	SSo107
138	Miles, Lois M.	小林信子	封書	10/16/1947	信子を訪ねた後、Happer からの手紙が来ていた。	篠田山バラックから。アメリカ赤十字の封筒。	SSo105
139	Milles, Annie	小林参三郎 小林信子	便箋のみ	11/6/1924			SSo277
140	Milles, Annie	-	グリーディングカード	-	クリスマスカード。	エクスマウス（イギリス）から。	SSo188
141	Morisset, André	小林信子	封書	?	差出人アンドレ・モリセは、ミラの息子である。マザーとオーロピンドのポートレイト。	Sri Aurobindo Ashram より。	SSoo38
142	Nancy, Sowter Reece (?), Mary T.	小林信子	封書	9/16/1922	SSo111 に同封されていた。	兵庫県のホテル宛。聖護院から。	SSo235
143	Ogilvie, Mabel	Mrs. Knapp	便箋のみ	?		ロンドンから。	SSo116

No.	差出人	宛名	種別	日付	内容	備考	資料番号
144	Oglesby, Angela M.	小林信子	封書	4/29/1950	John Malcolm Oglesby 夫人。	東京都中央区から。	10079
145	Oglesby, Angela M.	小林信子	封書	1/16/1958	John Malcolm Oglesby 夫人。	神戸市よりから。	10085
146	Oglesby, Angela M.	-	グリーディングカード	-	グリーディングカード。本人写真つき。		SSo191
147	Pain, Robert T.	小林信子	封書	11/6/1931	封筒に urgent とある。SS266 と同封。Pain の両親が体調を崩して、明日の午後に予定していた flower ceremony (生け花) のために、小林信子のところに行くことができなくなった。	Miyako Hotel の便箋。	SSo265
148	Salanave, Miriam	-	グリーディングカード	-			SSo134
149	Schulze-Buxloh, Friedrich	小林信子	葉書	12/17/1961	クリスマス、新年の御祝。		10008
150	Sedgwick, Ellery	小林信子	封書	7/6/1927	Atlantic Monthly の編集者からの手紙。Sally Fairchild の推薦で信子の草稿を受け取った。しかし掲載はできない？	ミュンヘンより。	SSo215
151	Sowter, Edith, E.	小林信子	葉書	6/4/1919	Edith E. Sowter は、ロンドン生まれ。京都市立第二商業学校の英語教師。1921 年 11 月に亡くなる。Nancy Sowter の姉。		SSo230
152	Sowter, Nancy	小林信子	封書	7/15/1922	誕生祝のメッセージ。Sowter は、SSo185 のゴダードの手紙にも登場する。		10102-23
153	Sowter, Nancy	小林信子	封書	10/1/1933	封筒には A. E. Sowter とある。文面に二人の Mabel が出てくる。	巣鴨の志村家宛て。東京より。	SSo269
154	Sowter, Nancy	小林信子	封書	8/2/1927		東京から。	SSo192
155	Sowter, Nancy	小林信子	封書	10/24/1928			SSo218
156	Sowter, Nancy	小林信子	封書	7/24/1933	客船の朝食メニューの裏に書いている。日付はメニューから。		SSo205
157	Sowter, Nancy	小林信子	便箋のみ	-	答案用紙に書かれたもの。		SSo254
158	Sowter, Nancy	小林信子	便箋のみ	-	電車内で書いたもの。		SSo276
159	Sowter, Nancy	小林信子	便箋のみ	-			10102-27

No.	差出人	宛名	種別	日付	内容	備考	資料番号
160	Sowter, Nancy	小林信子	便箋のみ	-			10103-53
161	Sowter, Nancy	小林信子	便箋のみ	-			10103-6
162	Sowter, Nancy	小林信子	便箋のみ	-			SSo238
163	Sowter, Nancy	小林信子	便箋のみ	-			SSo274
164	Sowter, Nancy	小林信子	便箋のみ	-			10103-9
165	Sowter, Nancy	小林信子	便箋のみ	-			SSo118
166	Sowter, Nancy	小林信子	封書	-			SSo217
167	Sowter, Nancy	-	メモ	-	作成者は筆跡 (10102-23) から判断。		10103-33
168	Sowter, Nancy & Edith	小林信子	便箋のみ	-			SSo262
169	Sowter, Nancy & Edith	小林信子	便箋のみ	-			SSo278
170	Sowter, Nancy & Edith	-	メモ	-			SSo275
171	Sowter, Nancy & Edith	小林信子	絵葉書	?	筆跡は Edith Sowter のもの。	京都から。	SSo224
172	Sowter, Nancy & Edith E.	小林信子	便箋のみ	6/8/1919			SSo256
173	Sowter, Nancy & Edith E.	小林信子	葉書	6/14/1919		東京の志村家の 宛。聖護院から。	SSo233
174	Sowter, Nancy & Edith E.	小林信子	葉書	6/27/1919		東京の志村家の 宛。聖護院から。	SSo229
175	Sowter, Nancy & Edith E.	小林信子	葉書	6/28/1919	筆跡は前半が Nancy、後半が Edith。	東京の志村家の 宛。聖護院から。	SSo232
176	Sowter, Nancy & Edith E.	小林信子	封書	2/16/1920		聖護院から。	SSo236
177	Sowter, Nancy & Edith E.	小林信子	葉書	3/26/1920			SSo214
178	Sowter, Nancy & Edith E.	小林信子	封書	4/8/1920		東京の志村家の 宛。聖護院から。	SSo231
179	Sowter, Nancy & Edith E.	小林信子	封書	8/13/1920	Mrs Hfrase, Mabel Happer, McDowell		SSo194
180	Sowter, Nancy ?	-	便箋のみ	-			10103-51
181	Sri Aurobindo Ashram	小林信子	封筒のみ	10/5/1956		ボンデイシェリー (インド) から。	10107
182	Sri Aurobindo Ashram	小林信子	封筒のみ	1/15/1958		ボンデイシェリー (インド) から。	10105

No.	差出人	宛名	種別	日付	内容	備考	資料番号
183	Sri Aurobindo Ashram	小林信子	封筒のみ	?		ポンドイシエリー (インド) から。	10112
184	Suzuki, Beatrice	小林信子	封書	11/14/1937	日本名として鈴木琵琶子を用いている。会う日の日程調整。10月8日にあった神月徹宗の葬儀に行ったかかを聞いています。信子が行けなかったのは、ビアトリスらの返事が遅れたからか？	京都市上京小山東大野町から。	SSo213
185	Suzuki, Beatrice	小林信子	封書	-	神智学協会の会合への招待。		SSo193
186	Suzuki, Beatrice	小林信子	封書	3/22/?	アダムズ・ベックの最期の小説「At the Foot of the Rainbow」に言及。		SSo198
187	Treadway, Lyman H. (Mrs.)	-	グリーディングカード	-	クリスマスカード。		SSo139
188	White, Césarine B.	小林信子	封書	8/17/1949	K. S. White 中佐夫人。	メリーランドの陸軍科学センターから。	SSo110
189	White, Césarine B.	小林信子	封書	12/7/1949	K. S. White 中佐夫人。クリスマスカード。	ベル・エア(メリーランド州) から。	SSo209
190	Whittlesey, Susan	小林信子	便箋のみ	9/12/1962	名刺集に名前あり。	ロンドンから。	10092
191	Woods, Mary M.	小林信子	封書	4/12/1924	Buddhist Psalms を信子から薦められた。	ミヤコホテルの便箋。	10103-16
192	Yamabe, Shugaku	小林信子	絵葉書	4/14/1930	Mr. Crammer Byng の家に泊まった報告。そこに小林信子の写真もあった。		10032
193	-	小林信子	絵葉書	9/29/1918	レターブックとカードケースを贈られたお礼。旅行中で、Mr. & Mrs Dodge と明日会うことを願うとある。		SSo136
194	-	小林信子	封筒のみ	9/29/1921		ジョリエット (イリノイ州) から。	10100
195	-	小林信子	封書	4/17/1923		東京から。	10103-18
196	-	-	メモ	-	メモ。山辺習学と小林夫妻とのお茶の時間について。		10102-26

和文書簡

No.	差出人	宛名	種別	日付	内容	備考	資料番号
1	Oglesby, Angela M.	小林信子	葉書	1/1/1962	1962年の年賀はがき。執筆は12月末日。ニューヨークの住所の報告。		10004
2	相賀安太郎	小林信子	封書	3/26/1950	『日布時事』社長兼主筆	ホノルルから。	10086
3	足利浄円	小林信子	封書	8/5/1946	近況報告。大連に囚われた大谷光瑞について。伝太郎から浄円宛ての書簡の裏に書いている。紙不足のためか。		SS0008
4	足利浄円	小林信子	封書	8/5/1946	生野島への帰島の報告など。木村毅のフランス時代の友人大部氏の消息について。		SS0007
5	足利浄円	小林信子	封書	1/1/1947	生野島からの新年挨拶など。		SS0006
6	足利浄円	小林信子	封書	4/29/1947	近況報告。自然法爾の章の裏に書いている。紙不足のためか。		SS0009
7	足利浄円	小林信子	封書	8/30/1954	自筆絵葉書。		10060
8	足利浄円	-	葉書	-			10019
9	足利浄円	-	葉書	-			10013
10	阿部現亮	小林信子	絵葉書	9/14/1921		ワシントンから。	SS0155
11	磯江泰雄	小林信子	絵葉書	6/29/1961	静坐誌送付の御礼。学校法人京華学園理事長。		10017
12	伊奈森太郎	小林信子	葉書	7/11/1953	静坐誌のお礼。		SS0004
13	井上嘉三郎	小林参三郎 小林信子	絵葉書	8/11/1919		奈良から。	SS0166
14	梅原留次郎	小林信子	葉書	-			10038
15	太田千種	小林信子	封書	2/12/1961		サンフランシスコから。	10103-21
16	尾上寿作	小林信子	葉書	10/6/1943	尾上寿作はグローリー創業者。『静坐』誌送付の礼状。		SS0061
17	金子大榮	小林信子	封書	5/28/1963	『静坐への道』の書。		10083
18	金子大榮	小林信子	葉書	-	S37年の年賀状。		10007
19	金子大榮	小林信子	葉書	1/1/?	年賀状。		SS0005
20	鎌田晃	小林信子	封書	9/3/1950			SS0029
21	鎌田晃	小林信子	封書	9/9/1950			SS0030
22	鎌田晃	小林信子	葉書	10/7/1950			SS0031
23	鎌田晃	小林信子	便箋のみ	10/11/1950	特種郵便物・小為替の受領証も一緒に保管されている。		SS0032
24	鎌田晃	小林信子	便箋のみ	10/16/?			SS0033
25	鎌田晃	小林信子	便箋のみ	8/20/?			SS0034

No.	差出人	宛名	種別	日付	内容	備考	資料番号
26	木村毅	小林信子	封書	2/18/1923	『生命の神秘』九版が出来るという話。その他、論説についての話題。『静坐と老荘』を読んだ。小林参三郎について静坐をしたいという希望。	千葉県から。	SS0219
27	木村毅	小林信子	封書	3/24/1923	『生命の神秘』出版後、去年、来年六月に続編を出したいと言っていた。		SS0264
28	木村毅	小林信子	封書	10/7/1923	関東大震災で木村が借りていた小林の本が焼けたらしい。『生命の神秘』の裏話。春秋社社長神田の話。		SS0237
29	木村毅	小林信子	封書	5/11/1955	筆跡から見て、執筆者は木村久わ子か？		SS0146
30	木村毅	小林信子	便箋のみ	-	12月に行く土肥旅行の話。『自然の名医』の話が出ているため、少なくとも1924年以降の書簡。		SS0260
31	木村毅	小林信子	便箋のみ	-	木村が神田や金木という人物に静坐を薦めている。10月になつたら暇ができるので、小林のもとで一か月ほど座りたい。		SS0261
32	木村毅	小林信子	封書	5/1/?	静坐社の運営資金に関する相談に対する返信か。		SS0013
33	木村久わ子	小林信子	封書	9/26/1954			SS0147
34	木村久わ子	小林信子	便箋のみ	7/17/?	寄付か。久わ子は、木村毅の妻だと考えられる (SS00146-147参照)		SS0014
35	五島茂	小林信子 小林みどり	封書	5/27/1961			10068
36	五島茂	小林信子	封書	4/13/1963			10072
37	五島茂	小林みどり	葉書	6/6/1983			SS0069
38	小島亮亨 小島ふみゑ	小林信子	葉書	11/19/1962	移転通知。		10018
39	小林参三郎	小林信子	封書	7/1/1913	静坐について。	東京の志村方宛て。	SS0280
40	小林参三郎	小林信子	封書	7/9/1914		京都から東京宛て	SS0187
41	小林参三郎	小林信子	封書	12/19/1918		宛先は志村鑑太郎郎。	10056
42	小林参三郎	小林信子	便箋のみ	?/27/?	SS0281にまとめられていた。静坐について。		SS0281
43	小林参三郎	志村鑑太郎	便箋のみ	?/28/?			SS0282

No.	差出人	宛名	種別	日付	内容	備考	資料番号
44	福田精華	小林信子	便箋のみ	4/27/?			10046
45	小林美代子	小林信子	便箋のみ	3/28/1949	志村美代子。一時期、小林信子の養女となり、小林姓を名乗った。		SS0016
46	小林美代子	小林信子	便箋のみ	3/25/?			SS0017
47	酒見俊夫	小林信子	葉書	10/22/1936	酒見俊夫は女子師範学校教員。静坐社に深く関わった。		SS0065
48	酒見俊夫	小林信子	葉書	3/10/1940			SS0067
49	酒見俊夫	小林信子	葉書	2/8/1941	金沢静坐会の参加者の寄せ書き。		SS0062
50	酒見俊夫	小林信子	葉書	3/21/1941	金沢で静坐会を開く。		SS0048
51	酒見俊夫	小林信子	封書	10/24/1941			SS0056
52	酒見俊夫	小林信子	封書	11/27/1941			SS0051
53	酒見俊夫	小林信子	封書	1/26/1942			SS0052
54	酒見俊夫	小林信子	封書	7/19/1942			SS0055
55	酒見俊夫	小林信子	葉書	10/1/1942			SS0066
56	酒見俊夫	小林信子	封書	11/21/1942	弓道と静坐について。近況報告。		SS0047
57	酒見俊夫	小林信子	封書	5/18/1943			SS0049
58	酒見俊夫	小林信子	封書	4/5/1945	戦争観や戦中の学校の様子について。		SS0060
59	酒見俊夫	小林信子	葉書	9/1/1948			SS0063
60	酒見俊夫	小林信子	葉書	?			SS0064
61	酒見俊夫	小林信子	封書	10/3/?			SS0059
62	酒見俊夫	小林信子	封書	3/3/?			SS0053
63	酒見俊夫	小林信子	封書	5/31/?			SS0050
64	酒見俊夫	小林信子	封書	7/12/?			SS0057
65	酒見俊夫	小林信子	封書	7/16/?			SS0058
66	佐藤茂子	小林信子	封書	7/7/1952	佐藤茂子は、佐藤通次の娘。茂子は、行儀見習いのために、小林信子のところについていた。帰省先からのたよりを信子に出している。		ST0004
67	佐藤茂子	小林信子	葉書	7/16/1952	帰省先からのたより。		ST0005
68	佐藤茂子	小林信子	封書	7/29/1954	小林信子の縁者と茂子の婚約解消問題について。		ST0003
69	佐藤通次	小林信子	便箋のみ	4/11/1952	佐藤通次はドイツ文学者。娘の茂子を預けることの礼状。謝礼も記載。		ST0008

No.	差出人	宛名	種別	日付	内容	備考	資料番号
70	佐藤通次	小林信子	封書	8/30/1953	亜細亜大学設学の事務仕事や独和言林の改訂などをしている。 青山学院大学学長の豊田実は、佐藤の九州帝大時代の同僚である。娘の茂子は、青山の本科に進む予定。 佐藤通次が、東京に移ったら家の一部で早朝静坐会と玄米朝食会をする計画。京都静坐会に所属する東京静坐会という位置づけ。		ST0015
71	佐藤通次	小林信子	封書	10/7/1953	茂子の婚約解消問題。めんくらう。成瀬先生の七十の御賀で、10日から上京。東京での住所記載。		ST0011
72	佐藤通次	小林信子	封書	8/16/1954	茂子が結婚の申し込みを受けるという主旨。ただ、結婚式は卒業後。信子の書きかけの返事が一緒に保管されている。		ST0007
73	佐藤通次	小林信子	封書	11/1/1954	亜細亜大学教授陣整備のため、滞京がちだった。静坐、健康について。岡田虎二郎に言及。		ST0010
74	佐藤通次	小林信子	封書	5/16/1955	亜細亜大学に毎週木・金と出京。 『斯の道』の出版。50部送るので、定価頒布で静坐社の維持費に充てて欲しい。各地の主催者には佐藤から送付。足利浄円・金子大栄・鈴木大拙には別途同封。推薦文・寸感寸評の依頼。		ST0012
75	佐藤通次	小林信子	葉書	6/10/1955	『斯の道』の五十部送付。鈴木大拙、足利浄円、金子大栄への奇贈と推薦文の依頼。		ST0001
76	佐藤通次	小林信子	封書	11/19/1955	信子から、婚約解消問題に関する手紙を受け取り、信子側からの詳細を知る。	生産日本社・地心会の封筒。	ST0013
77	佐藤通次	小林信子	封書	12/7/1955	婚約解消問題の打ち切り宣言。		ST0009
78	佐藤通次	小林信子	封書	12/13/1955	田中五一からドイツへ渡って「道」を勧めたいという内容の葉書があった。		ST0006
79	佐藤ふみ子	小林信子	封書	8/5/1954	佐藤ふみ子は、佐藤通次の妻。佐藤茂子の母。婚約解消問題。		ST0002
80	佐藤ふみ子	小林信子	封書	11/19/1955	婚約解消問題。		ST0014
81	佐藤幸治	小林信子	葉書	9/10/1960	近況報告と『ブシコロギア』の案内。	京都大学心理学教室から。	10002

No.	差出人	宛名	種別	日付	内容	備考	資料番号
82	塩尻卯女?	小林信子	葉書	8/2/1963	塩尻卯女は、塩尻公明の義母で静坐社の同人である。8月の例会(静坐会?)の日になちを尋ねる。	神戸市赤塚山から。	10015
83	志方益三	小林信子	葉書	1/6/1954	年賀状。	兵庫県城崎町から。	SS0169
84	志方益三	小林信子	葉書	11/21/1955	静坐誌送付の御礼。		10006
85	志方益三	小林家	葉書	3/26/1956	御祝への返礼。		SS0044
86	柴田徹士	小林信子	葉書	8/9/1953			10042
87	柴田徹士	小林信子	絵葉書	9/13/1962	下宿先の報告。柴田は英文学者。大阪大学教授。ミシガン大学大学院で学生生活を始める。	アナーバー(ミシガン)から。	10003
88	柴田徹士	小林信子	絵葉書	11/9/1962	ミシガン大学大学院での学生生活。	アナーバー(ミシガン)から。	10021
89	柴田徹士	小林信子	葉書	11/9/1962	ミシガン大学大学院での学生生活。	アナーバー(ミシガン)から。	10009
90	柴田徹士	小林信子	葉書	12/9/1962	ミシガン大学大学院での学生生活。	アナーバー(ミシガン)から。	10010
91	柴田徹士	小林信子	葉書	4/11/1963	ミシガン大学大学院での学生生活。	アナーバー(ミシガン)から。	10031
92	柴田徹士	小林信子	葉書	6/15/1963	ミシガン大学大学院での学生生活。	アナーバー(ミシガン)から。	10011
93	柴田徹士	小林信子	絵葉書	8/1/1963	ミシガン大学大学院での学生生活。	デトロイト(ミシガン)から。	10029
94	柴田徹士	小林信子	絵葉書	?/23/1961		網走から。	10012
95	志村鑑吉郎	小林信子	葉書	1/3/1920	志村鑑吉郎は、小林信子の甥。年賀状。		SS0195
96	志村鑑太郎	小林信子	絵葉書	11/3/1918	志村鑑太郎は、小林信子の父。鑑太郎は号を用いているらしいが、判読できず。	東京銀座から。	SS0159
97	志村鑑太郎	小林参三郎	絵葉書	1/1/1920	年賀状。	浅草から。	SS0160
98	志村鑑太郎	小林信子	絵葉書	10/29/1921	鑑太郎は号を用いているらしいが、判読できず。		SS0158
99	志村鑑太郎	小林信子	絵葉書	8/7/1933	鑑太郎は号を用いているらしいが、判読できず。	東京市渋谷区から。	SS0041

No.	差出人	宛名	種別	日付	内容	備考	資料番号
100	志村鑑太郎	小林信子	絵葉書	8/8/1933	鑑太郎は号を用いているらしいが、判読できず。	東京市渋谷区から。	SS0039
101	志村鑑太郎 志村保子	小林参三郎 小林信子	封書	2/17/1918	志村保子は、小林信子の母。 鑑太郎筆と保子筆の二通が同封。鑑太郎は号を用いているらしいが、判読できず。静坐や禪や儒教について。	東京銀座から。	SS0279
102	志村鑑太郎 志村保子	小林参三郎	絵葉書	7/1/1919		東京銀座から。	SS0167
103	志村鑑太郎?	小林信子	葉書	2/29/1928	鑑太郎の号が署名されている。		10103-46
104	志村鑑太郎?	小林参三郎	絵葉書	10/29/?	筆跡から作成者を判定。	東京銀座から。	SS0156
105	志村庸雄	小林信子	封書	10/28/1955	志村庸雄は信子の弟。佳代子・弘代・美代子の父。戸籍が同封されている。戦後の結婚論を述べている。	東京都文京区から。	SS0024
106	志村庸雄	志村保子 (?)	便箋のみ	4/3/?			SS0011
107	志村(加藤)弘代	小林信子	封書	11/28/1964	志村弘代は、小林信子の姪。近況報告。結婚式の写真を同封。		SS0026
108	志村(加藤)弘代	小林信子	便箋のみ	?	佐藤茂子と三度ほど会う。佐藤通次が7日に栄転。佐藤は、子供の頃の弘代らを良く知っていた。佐藤に、夫(雄明)の勉強の相談をした。		SS0025
109	志村弘代	小林信子	便箋のみ	3/25/?			SS0018
110	志村弘代	小林信子	封書	6/30/?	結婚の報告。相手は小学校の先生。		SS0027
111	志村弘代 志村稲子	小林信子	便箋のみ	4/1/?	稲子は信子の弟・志村庸雄の妻。弘代は庸雄と稲子の娘。		SS0010
112	志村保子?	小林信子	絵葉書	10/2/1921			SS0165
113	志村両元	小林信子	絵葉書	10/13/1935		東京市渋谷区から。	SS0043
114	志村?	小林信子	絵葉書	8/11/1933		東京市渋谷区から。	SS0012
115	真溪涙骨	小林信子	封書	4/12/1940	小切手が同封。静坐によって信子が知られるようになったことを称賛。		SS0207

No.	差出人	宛名	種別	日付	内容	備考	資料番号
116	菅谷重平	小林信子	封書	2/5/1959	菅谷重平は、関東特殊製鋼株式会社取締役会長。近畿大学教授。経済学者。小林参三郎の『生命の神秘』を読んだ。永雄策郎とも知り合い。	関東特殊製鋼株式会社からの封筒。	10062
117	大福国靖	小林信子	葉書	1/4/1961		ホノルルから。	10103-34
118	竹林久次郎他	小林参三郎	領収書	4/5/1922	小林参三郎から尋常小学校への備品費寄付の領収書。		10102-3
119	田中五一	小林参三郎	葉書	1/18/1921	田中五一は、岡田虎二郎の直弟子。教員。木下尚江や石川三四郎にも私淑した。伊藤啓風に語った岡田虎二郎の言葉のメモ。		10103-44
120	田中五一	小林信子	葉書	6/3/1954	静坐誌に関して。		SS0179
121	田中五一	小林信子	葉書	11/12/1954	静坐誌に関して。		SS0182
122	田中五一	小林信子	葉書	12/7/1954	静坐誌に関して。		SS0180
123	田中五一	小林信子	葉書	12/15/1954	岡田完二郎(当時宇都宮興産副社長)に静坐誌を毎号送っている。田中五一を通じて岡田は静坐誌に寄稿するようになる。大室利三郎も静坐誌を購入希望。		SS0181
124	田中五一	小林信子	葉書	1/1/1955	年賀状。		SS0176
125	田中五一	小林信子	絵葉書	2/4/1955	静坐誌に関して。少年の更生保護施設・小田原少年園(住慈園)の園長、鶴岡久子から静坐誌の依頼。久子は岡田から静坐を教わった。少年園では、毎朝静坐させており、園長の和修(雍山)も静坐で病気を克服した経験を持つ。		SS0178
126	田中五一	小林信子	葉書	2/10/1955	静坐誌に関して。		SS0177
127	田中五一	小林信子	葉書	4/22/1955	静坐誌に関して。		SS0175
128	田中五一	小林信子	葉書	5/16/1955	静坐誌に関して。		SS0174
129	田中五一	小林信子	葉書	5/29/1955	静坐誌に関して。		SS0173
130	中野修	小林信子	封書	1/1/1960	新年挨拶	ソルトレークシテイから。	10103-3
131	名畑心順	小林みどり	封書	4/6/1973	小林信子逝去の哀悼と香典		SS0071
132	成瀬無極	小林信子	絵葉書	3/1/1920	松井須磨子のポストカード。		SS0199
133	成瀬無極	小林信子	葉書	4/3/1920	成瀬無極は、ドイツ文学者。京都帝国大学教授。署名にある清は、成瀬無極の本名。カメレオンの会での配役の通知。		SS0196
134	成瀬無極	小林信子	封書	6/25/1920	カメレオンの件。		SS0283

No.	差出人	宛名	種別	日付	内容	備考	資料番号
135	成瀬無極	小林信子	封書	6/29/1920	カメレオンの会について。		SS0234
136	成瀬無極	小林信子	封書	4/10/1953	佐藤通次、川田順の名前が出ている。		SS0148
137	二荒菟子	小林信子	封書	11/30/1933	二荒芳徳の妻。		10078
138	西田保太郎	小林参三郎 小林信子	絵葉書	11/4/1921	署名は保太生。西田天香の長男、西田保太郎（保香）と思わ れる。西田保太郎は、小林参三郎によって静坐の感化を受け た。また西田の二男、西田理一郎は、小林参三郎に看取られ て亡くなっている（『静坐』1巻8号）	鳴子温泉、鳴子 ホテルから。	SS0168
139	長谷川新一	小林信子	葉書	3/18/1963			10020
140	長谷川新一	小林信子	絵葉書	8/29/1963			10023
141	畑本俊男	酒見俊夫	封書	10/13/?	金沢静坐会の参加者。		SS0054
142	蜂屋賢喜代	小林信子	葉書	10/31/1942	蜂屋賢喜代は、真宗大谷派僧侶。号は麦堂。伊藤益『念仏者 蜂屋賢喜代』（2017年、北樹）の近刊がある。		10035
143	蜂屋賢喜代	小林信子	封書	1/2/1950			SS0002
144	蜂屋賢喜代	小林信子	葉書	4/22/1952	麦堂は蜂屋賢喜代の号。		SS0170
145	蜂屋賢喜代	小林信子	封書	6/5/1954	みりの会へ出席したときのこと。		SS0003
146	蜂屋賢喜代	小林信子	葉書	8/14/1961			10041
147	蜂屋賢喜代	小林信子	封筒のみ	6/26/1963			10081
148	蜂屋賢喜代	小林信子	葉書	8/2/1963			10040
149	蜂屋賢喜代	小林みどり	便箋のみ	5/7/?	不揃い。		SS0001
150	蜂屋賢喜代	小林信子	便箋のみ	6/26/?	長岡禅塾の森本省念へ『自然の名医』と『生命の神祕』を売っ た。		10047
151	蜂屋賢喜代 蜂屋教正	小林信子	封書	4/25/1961	光照寺本堂再建のための勸募の案内。光照寺は蜂屋の寺であ り、戦災で焼けて仮本堂の状態であった。総工費 4870000 円。		10053
152	ハッパ	小林信子	封筒のみ	11/?/1922		赤坂区台町から。	10071
153	林久男	小林信子	葉書	9/6/1950	林久男は、ドイツ文学者。三高教授。カメレオンの会に言及。		10039
154	久松真一	ゴッダルド (Goddard, Dwight)	便箋のみ	9/7/-	ゴッダルドの Buddhist Bible に言及あり。ゴッダルドの書簡に同 封されて居たものか？		10054-3
155	福沢しま子	小林信子	封筒のみ	2/13/?			10103-1
156	福田正信?	小林信子	封書	10/6/1950	山辺習学七回忌の御礼。		10061

No.	差出人	宛名	種別	日付	内容	備考	資料番号
157	藤井恵融	小林信子	葉書	5/8/1967	静坐の効果について。		SS0285
158	松井須磨子	小林参三郎 小林信子	絵葉書	3/12/1918	松井須磨子の写真。歌舞伎座（芸術座・沈鐘）森の姫。		SS0200
159	松本順	小林参三郎	封書	6/18/1897	日付は、封書と便箋の署名、および消印で一定せず。便箋の日付を採用。	ホノルル宛て。	10145
160	松本順	小林参三郎	便箋	11/-/1902	小林参三郎へ蘭齋の号と水晶印を贈ることを伝える文書。		10147
161	宮田要逸	静坐社	葉書	5/25/1954	『静坐』誌送付の督促。		SS0040
162	求名	小林信子	封書	9/5/1953	静坐と念仏について。差出人は香川県本照寺住職。		SS0028
163	森宗一	小林信子	葉書	7/21/1961	大阪文化服装学院理事長。		10016
164	守安千代	小林信子	絵葉書	1/1/1919	年賀状。	大阪東区尾町から。	SS0162
165	柳田美代子	小林信子	絵葉書	5/18/1937	柳田美代子は、画家（染め絵）、和服研究科。柳田誠二郎夫人。	ウエールズ（？）から。	SS0154
166	柳田美代子	小林信子	葉書	4/1/1955			SS0172
167	柳田美代子	小林信子	葉書	4/13/1955			SS0171
168	八尋武人	小林信子 小林家家族	封書	5/3/1973	小林信子逝去の哀悼と香典。		SS0070
169	山辺習学	小林参三郎 小林信子	絵葉書	8/1/1923	山辺習学は、真宗大谷派僧侶。大谷大学教授。仏教学者。静坐に深く関わった。	鹿児島から。	10103-38
170	山辺習学	小林信子	封書	7/15/1932	誕生日祝。		10076
171	山辺習学	小林信子	絵葉書	1/1/1934	謹賀新年。		10074-5
172	山辺習学	小林信子	葉書	9/25/1940	自筆絵葉書。		SS0022
173	山辺習学	小林信子	葉書	1/17/1942	自筆絵葉書。		SS0023
174	山辺習学	-	葉書	-			10036
175	山辺習学	-	葉書	-			10037
176	山辺習学	小林信子	封書	10/11/?			10075
177	山辺習学	小林信子	封書	3/4/?	静坐について。		10077
178	山辺習学	小林信子	封書	6/20/?	封筒のみ。		SS0144
179	山辺習学	小林信子	葉書	7/9/?			10014
180	山辺習学	小林信子	封書	8/15/?	三味齋は山辺習学の号。		10074-1

No.	差出人	宛名	種別	日付	内容	備考	資料番号
181	山辺習学	小林参三郎 小林信子	絵葉書	?/5/1923		鹿兒島から。	10103-36
182	山辺習学	小林信子	絵葉書	8/ 中旬 /1927	金沢からの報告。		SS0208
183	山辺習学 今村恵猛?	小林信子	絵葉書	4/29/1930		ホノルルから。	SS0220
184	阿部現亮	小林信子	絵葉書	6/8/1920	横浜からの出航時。	横浜から。	SS0225
185	阿部現亮	小林信子	絵葉書	9/20/1920		ロサンゼルスから。	SS0223
186	園池公功?	小林信子	絵葉書	8/22/1921	署名は公功。演出家・園池公功と思われる。成瀬らと朗読をやったという報告。園池のおぼと小林信子も付き合っていたらしい。	東京から。	SS0163
187	角田柳作?	小林信子	封書	-	添えられた短歌に角田が使っていた「坡土遜」の号が添えられている。	京都のミヤコホテルの封筒。	10084
188	近藤純悦	小林参三郎	絵葉書	7/21/1920	蓮心寺の住職。	青森市本町から。	SS0161
189	山里桂石	小林信子	封書	6/19/1961	山里桂石は、本願寺派開教使。静坐について。		10045
190	山里桂石	小林信子	封書	7/28/1961	開教使の与世盛に言及。		10044
191	成瀬無極 Ammann, Rozi	小林信子	絵葉書	8/23/1923		チューリーッヒから。	SS0132
192	暉峻康範	小林信子	封書	10/12/1955	暉峻康範は『印度仏跡巡拝記』(1928年)の著者、真宗僧侶。仏前への供物が同封。小林参三郎の年忌。		10063
193	暉峻康範	小林信子	封書	11/9/1957	写真、セندگان香木、短歌を同封。		10058
194	-	小林信子	絵葉書	8/21/1918		ツオリコン(スイス)の消印。	SS0157
195	-	小林信子	絵葉書	1/19/1921	経文の抜書き(一)。「小林先生の奥様に奉納」とあり。		10025
196	-	小林信子	絵葉書	1/19/1921	経文の抜書き(二)		10026
197	-	小林信子	絵葉書	1/19/1921	経文の抜書き(三)		10027
198	-	小林信子	絵葉書	1/19/1921	経文の抜書き(四)		10028
199	-	小林信子	絵葉書	1/19/1921	経文の抜書き(五)		10030
200	-	小林信子	絵葉書	1/19/1921	経文の抜書き(六)		10043

No.	差出人	宛名	種別	日付	内容	備考	資料番号
201	-	小林信子	絵葉書	1/19/1921	経文の抜書き (七)		10022
202	-	小林信子	絵葉書	1/19/1921	経文の抜書き (八)		10024
203	-	小林信子	絵葉書	10/1/1921		ツオリコン (ス イス) の消印。	SS0130
204	-	小林信子	絵葉書	-			10033
205	?	小林信子	絵葉書	12/9/1931		花巻温泉から。	SS0189
206	?	小林信子	葉書	2/5/1939	直筆絵葉書		10034
207	?	小林信子	絵葉書	6/12/1953		オランダ・ロッ テルダムから。	SS0042
208	?	覚信尼彌女	便箋のみ	-			SS0263
209	?	小林信子	封書	5/18/?			10057
210	?美二 ?よし子	小林参三郎 小林信子	絵葉書	9/18/1921		ベナン (マレー シア) から。	SS0164

書籍・小冊子

No.	著者	タイトル	発行者	発行年月日	備考	資料番号
1	Araki, Toschima	Shinzo Shinjo (1873-1938)	Toschima Araki	-	Reprinted from The Report of the National Research Council of Japan, Vol. II, No. 8, 1939	10098
2	Goddard, Dwight & Bhikshu	Buddhist Practice of Concentration: Dhyana for Beginners	Dwight Goddard	4/17/1905	中国語からの翻訳	-
3	Miura, Sekizo	Poems and Prophecies From the East	Heibon-sha	-	サイン: To my wonderful friend from the West who realize in himself the universal mind deepened in Zen and earlier esoteric Buddhism, from writer: Sekizo Miura	10101
4	Rakuto Seishiyo	Welcome the American Garden Clug	Rakuto Seishiyo	5/-/1935		10097
5	Sri Aurobind Ashram	The Advent Vol. XVII, No. 1	Sri Aurobind Ashram	2/-/1960		10111

No.	著者	タイトル	発行者	発行年月日	備考	資料番号
6	Sri Aurobind Ashram	Mother India: Monthly Review of culture, Vol. XII, No. 1	Sri Aurobind Ashram	2/-/1960		10164
7	伊奈森太郎編	人生を如何に観る	伊奈森太郎	10/1/1929	非売品	10088
8	岩本月洲	和の実践	同朋舎	12/30/1940		-
9	鎌田晃編	解脱の光	鎌田晃	8/10/1943	非売品 同朋舎印刷 息子・鎌田覚の書簡や手記をまとめたもの	-
10	京都市産業部観光課	京都皇陵拝案内	京都市産業部観光課	7/10/1937		-
11	清沢満之	清沢満之全集 第四巻 修養	有光社	11/8/1934		-
12	久保天隋講述	ボケット菜根譚 詳解講義	金刺芳流堂	6/16/1910		-
13	小林参三郎	支那医学開発に就て 愚見を陳べ同仁会を賛し支那人に施したる外科手術成績に及ぶ (抜刷)	東京医事新誌局	?	『東京医事新誌』二七八号別冊	10151
14	佐保田鶴治講述	江湖塾第一講 静坐	日本精神錬成会	11/1/1941		10089
15	新村出	南蛮更紗	改造社	12/3/1924	メモあり	-
16	新村出	南蛮広記	岩波書店	9/5/1925	小林信蔵書 メモあり	-
17	ストリンドバルト著・木村毅訳	靈魂帯	社翁全集刊行社	4/20/1921	「?呈 小林様 訳者」のサイン	-
18	曾我了雲編	光徳 第八十四号 特輯 百万人の教養	光徳寺大乘仏教研究所	8/1/1940		-
19	デュルクハイム著・橋本文夫訳	マイルステル・エックハルトー 独逸的信仰の本質	理想社	11/18/1943		-
20	内藤湖南編	満州写真帖	東洋堂	6/4/1908		-
21	中井玄道	仏式結婚の話	顕道書院	2/10/1930	再版 1923年6月10日初版	-
22	中山忠直	日本人の偉さの研究	先進社	9/15/1931		-

No.	著者	タイトル	発行者	発行年月日	備考	資料番号
23	成瀬無極	四十歳	内外出版	11/15/1920	「小林夫人」のサイン	-
24	成瀬無極	東山夜話	内外出版	9/10/1921	「小林夫人 無極 大正十年十月 ？にのぞみて」のサイン	-
25	成瀬無極	夢作る人	内外出版	7/15/1924		-
26	成瀬無極	偶然問答	大鏡閣	12/15/1925	「謹呈 小林夫人」のサイン	-
27	成瀬無極	人生戯場	政経書院	8/30/1934	「呈 小林夫人 無極」のサイン	-
28	成瀬無極	南船北馬	白水社	5/3/1938	「小林信子夫人」のサイン	-
29	成瀬無極	木の美を拾ふ	白水社	11/30/1940	「呈上 小林夫人 著者」のサイン	-
30	成瀬無極	無極集	法律文化社	11/3/1959	非売品	-
31	西元宗助	仏教は生きている	永田文昌堂	1/15/1966		-
32	布哇新報編	布哇新報 第一〇〇号	布哇新報	10/1/1902	志保沢忠三郎「送医学士小林参三郎先生」の一面記事	10149
33	平田禿木	Essays and Sketches by Modern Writers with the Japanese Version and Notes	アルス	3/10/1920		-
34	本派学生仏教青年会連盟	学生仏教青年会 第三回指導者協議会 第十一回幹部訓練所 要項	本派学生仏教青年会連盟	8/-/1937	直筆のパンフレット	-
35	真溪涙骨	一開また一開	平凡社	12/18/1933		-
36	真向法普及本部	真向法	真向法普及本部	1/15/1956	パンフレット	-
37	山村敏行編	磯丸全集	渥美郡教育社	2/15/1924	「信子」の署名	-

その他

No.	関連事項	種別	内容	ID
1	Getty, Alice	写真	Alice Getty の写真。高野山にて。	SS0141

No.	関連事項	種別	内容	ID
2	Happer, John Stewart	議事録	「ハッパー記念会委員会決議録 昭和12年8月10日 西米利加人倶楽部に於て開催」 J. S. Happer の記念祭の計画と思われる。東岳寺住職が深く関わる。Happer は「日本人と此地に来訪する緒外国人間を密接に契合せしめん為に終始努力したる人」と評されている。	10159
3	Happer, Mabel Bacon	赴任依頼書	Mabel Bacon Happer に宛てた、英語教員として京都女子専門学校に赴任することに関する依頼書。小林信子の口利きによる。英文。署名なし。日付は、「28 November 1949」。	SS0117
4	Sowter, Edith E.	弔辞	Edith E. Sowter の葬儀での弔辞。英文。	SS0151
5	オーロビンド・アシユラム	写真	・ Diary with Quotations from Sri Aurobindo and The Mother (Aurobindo Ashram) の発行する日記帳、マザーやオーロビンドの写真や言葉が載っている ・ 写真 (35.12.27 at Hakone Lake Ashi) ・ その他、新聞切抜きなど	10090
6	オーロビンド・アシユラム	写真	インドの消印のある封筒に入られている。オーロビンドアシユラムからの返却物か？	10113
7	オーロビンド・アシユラム	リーフレット	オーロビンド・アシユラムから定期刊行されたリーフレット (1958/3/29)	10104
8	オーロビンド・アシユラム	リーフレット	オーロビンド・アシユラムから定期刊行されたリーフレット (1956/11/24, 1957/3/25)	10106
9	オーロビンド・アシユラム	リーフレットなど	・ オーロビンド・アシユラムから定期刊行されたリーフレット (1956/8/15, 1956/10/11, 1956/10/13, 1956/10/19, 1956/11/2, 1957/3/29, 1957/4/4, 1958/1/24, 1958/2/21, 1958/4/4, 1958/4/24, 1958/10/20, 1958/10/22, 1958/10/10, 1959) ・ リーフレットに使われたマザーの写真 ・ オーロビンド・アシユラム発行のカレンダー (1957年、1958年) ・ M. A. Patel (Aurofood Limited of the Founder) の名刺。手書きで「20, May, 1995」とメモがある。	10108
10	外国人女性	色紙	「For Madame Kobayashi with Affectionate Words in the New Year, Paris December 1926. ? T. Seth」	10150

No.	関連事項	種別	内容	ID
11	外国人女性	写真	小林と外国人女性が和服で正座をしている写真。裏面に、「Ethel Lewis (?) & Mrs. Ko-bayashi, February 20th 1928」の署名。	SS0150
12	カメレオン	告知	カメレオン小劇団創立一周年記念私演 十二月二十五(土曜)日午後四時ヨリ小林郎 第一 イプセン「人形の家」 第二 秋田雨雀「国境の夜」 メンバーに、野村(?)、林久男、成瀬無極、小林信子、新村出、関口(?)、園池公功、 川田(順?)、阪倉(篤太郎?)、福田(?)。	SS0284
13	小林参三郎	御悔帳	小林参三郎の葬儀の会葬者芳名帳。	SS0291
14	小林参三郎	感謝状	济世病院設立における小林参三郎の尽力に対する感謝状。「明治三十六年十月十九日 真言宗各宗派連合総裁 大僧正 長寿匡」。	10155
15	小林参三郎	感謝状	小林参三郎に対する故郷の播磨国加東郡の僧侶からの感謝状。「明治三十六年十月廿 一日」。	10157
16	小林参三郎	懇嘱状	「明治三十六年十一月二日 真言宗祖風宣揚会」小林参三郎に対する慈善病院設立経営 の依頼状。	10158
17	小林参三郎	写真	「心ダケノ世ヲ経ル」の掛け軸。小林参三郎が好んだ言葉。	SS0068
18	小林参三郎	証明書	第七十号 明治20年4月16日 小林参三郎の「医術開業前期試験及第之証」	10143
19	小林参三郎	証明書	クーパー医科大学のドクター認定証明書	10144
20	小林参三郎	証明書	「The Bord of Examiners of the Medical Society of the State of California」クーパー医科大 学の学位認定証	10152
21	小林参三郎	証明書	1903年2月9日 日本領事代理による小林参三郎の医療資格の証明書 香港領事館への 提出用	10154
22	小林参三郎	葬儀控 帳	「無碍光院和濟蘭疇居士 葬儀諸控帳 俗名ドクトル小林参三郎 享年六十四歳 大 正十五年十月二十八日寂入」	10118
23	小林参三郎	弔辞	「大正十五年十一月三日 祖風宣揚会会長 泉智等」小林参三郎の葬儀における弔辞	10146
24	小林参三郎	弔辞	「大正十五年十一月三日 京都府下京区第四方面委員会」小林参三郎の葬儀における弔 辞	10148
25	小林参三郎	弔辞	「大正十五年十一月三日 济世病院代表 清瀧智龍」小林参三郎の葬儀における弔辞	10153

No.	関連事項	種別	内容	ID
26	小林参三郎	弔辞	「大正十五年十一月三日 山邊習學 謹白」 小林参三郎の葬儀における弔辞	10160
27	小林参三郎	弔辞	神呪寺住職南朝円による小林参三郎の葬儀における弔辞。神呪寺は、小林参三郎の故郷の菩提寺。	SS0290
28	小林参三郎	巻物	「南無阿弥陀仏 廿二日 参 信子のき○○（判読できず）」 静坐や仏教のことについて。参三郎から信子の縁者に宛てたものか？	10162
29	小林参三郎 松本順	講義 ノート	「蘭疇松本先生備忘随誌書画摘載（小林参三郎写ス）」	SS0286
30	小林信子	絵葉書	小林信子ともう一人の女性の写真で作った絵葉書。「Prof. I. Shimmura Farewell Day 27 IV 1921」とある。	10005
31	小林信子	会員名簿	作楽会京都支部会会員名簿。昭和35年5月現在。作楽会は東京女子高等師範学校附属高等女学校とお茶の水女子大学附属高等学校の同窓会である。小林信子も会員となっている。	10087
32	小林信子	感謝状	小林信子に対する仏教系の婦人会からの感謝状。「布哇馬哇島 ワイルク ? 字婦人会 明治四十一年七月 小林信子殿」。	10156
33	小林信子	原稿	枕草子英訳のタイプ原稿。修正あり。	SS0253
34	小林信子	香奠帳	小林信子の葬儀の香奠帳。三冊。	SS0289
35	小林信子	到来帳	小林信子の葬儀の贈答品リスト。	SS0287
36	小林信子	芳名帳	小林信子の葬儀の会葬者芳名帳。二冊。	SS0288
37	小林信子	ポスト カード 集	信子が「POSTCARD ALBUM」に保管していた絵葉書	10163
38	小林信子	手記	小林信子の思い出の記録：「二宮町の頃」、「みいちゃん」	10119
39	小林信子	手記	小林信子の思い出の記録：「この家」	10120
40	小林信子	手記	小林信子の思い出の記録：「三十七年、女子大入学」	10121
41	小林信子	手記	小林信子の思い出の記録：「先生達のこと」	10122
42	小林信子	手記	小林信子の思い出の記録：「ハワイから済世病院設立の頃まで」	10123

No.	関連事項	種別	内容	ID
43	小林信子	手記	小林信子の想い出の記録：「四十有年前前」(インド行の手記)	10124
44	小林信子	手記	小林信子の想い出の記録：「おみやげ大喜び」(インド行の手記)	10125
45	小林信子	手記	小林信子の想い出の記録：「内山新さん」	10126
46	小林信子	手記	小林信子の想い出の記録：「生命の神秘」	10127
47	小林信子	手記	小林信子の想い出の記録：「先生の?」(岡田虎二郎のこと)	10128
48	小林信子	手記	小林信子の想い出の記録：「先生が京都において」(岡田虎二郎のこと)	10129
49	小林信子	手記	小林信子の想い出の記録：「印度旅行」、「マザーの事」	10130
50	小林信子	手記	小林信子の想い出の記録：「カメレオン」(カメレオンのこと)	10131
51	小林信子	手記	小林信子の想い出の記録：「病院開院の前」	10132
52	小林信子	手記	小林信子の想い出の記録：「成瀬先生の事」	10133
53	小林信子	手記	小林信子の想い出の記録：「ホノレル?」	10134
54	小林信子	手記	小林信子の想い出の記録：「病院の開院の話」	10135
55	小林信子	手記	小林信子の想い出の記録：「病院開設の時から」	10136
56	小林信子	手記	小林信子の想い出の記録：「ベックさんのこと」	10137
57	小林信子	手記	小林信子の想い出の記録：「十一才から十六才のころまで」	10138
58	小林信子	手記	小林信子の想い出の記録：「歎異抄八章のお話」	10139
59	小林信子	手記	小林信子の想い出の記録：「オロビントアシユラム カルカッタ マドラス」(インド行の手記)	10140
60	小林信子	手記	小林信子の想い出の記録：「この家は昭和四年の建前」	10141
61	静坐	原稿	「追悼記念静坐会」と題された原稿。「渡辺長四郎」の署名。「静坐」239号(1955年11月1日)に掲載。	SS0015
62	静坐	原稿	田中五一「遙かドイツよりの反響に接して」の原稿。田中五一は岡田虎二郎⇒石川三四郎と連なる静坐実践者。ハイニンリッヒ・ルック、博士マインケ裁判官との交流が述べられる。26頁目に「一九五五年十一月十七日」と日付があるが、取り消し線が引かれている。	SS0152
63	静坐	原稿	田中五一「世界の悩みをとくもの」の原稿。1956年1月7日に執筆。	SS0153
64	静坐	告知	「岡田先生二十年祭追慕講演会」の通知	SS0149
65	静坐	写真	昭和45年10月17日、「岡田虎二郎先生50年祭記念」に集まった人々の集合写真。名前表付。	10091

No.	関連事項	種別	内容	ID
66	静坐	写真 アルバム	昭和初期の静坐社の写真集。昭和2年から昭和14年までの夏期静坐実習会の集合写真と名前表が揃っている。	SS0292
67	静坐	静坐会 寄せ書 き	「昭和11年1月9日 光徳静坐会」	10115
68	静坐	葉書	『静坐』二四〇号。葉書で発行された。	10117
69	みのりの会	会員名 簿	みのりの会（昭和16年1月）の会員名簿。小林信子と同じ住所で今村清子の名前があるが、これは今村恵猛の妻か？	SS0143
70	みのりの会	弔辞	「昭和十九年九月十八日 門下生代表 常本憲雄 敬白」（みのりの会 複製） 山辺習学への弔辞。 戦中の山辺の事績について列挙されている。	10161
71	柳田美代子	新聞記 事	柳田美代子の絵画に関する新聞記事の切り抜き。	10055
72	養女関係	作文	小林信子の姪の志村攝子と志村弘代の学生時代の作文。昭和11年8月23日の署名。	SS0020
73	養女関係	作文	志村佳代子の作文。	SS0021
74	養女関係	作文	弘代・佳代子・美代子の反省文。	SS0035
75	養女関係	作文	志村弘代の作文。京華学園の原稿用紙に書かれている。	SS0036
76	養女関係	メモ	小林信子が「みいちゃん」（美代子？みどり？）に宛てたメモ。	SS0037
77	-	絵葉書		10114
78	-	原稿	The Woes of Married Couple と題されている。創作小説か？	10052
79	-	原稿	The couple's trouble. なんらかの作品の草稿か？	10069
80	-	原稿	童話の原稿。作成者不明。	SS0019
81	-	原稿	The Woes of Married Couple の一部分か？	SS0239
82	-	原稿	K. Komatsu（小松幸蔵か？）によって英訳された、1940年代の日中間の問題や従軍布教使に関する文章。	SS0240
83	-	原稿	The Woes of Married Couple と題されている。創作小説か？	SS0255
84	-	告知	「総司令部民間情報部スタングラード女子？説会」。裏にメモあり。	10051

No.	関連事項	種別	内容	ID
85	-	小包のタグ	国際小包のタグ。品名は Candy。1949/11/21 の日付。オークランドから。Daisy B. Knapp から小林信子へ送られたもの。	SS0126
86	-	小包のタグ	国際小包のタグ。品名は Candy。1947年のもので日付は読み取れない。オークランドから。Daisy B. Knapp から小林信子へ送られたもの。	SS0133
87	-	写真	写真 4 枚。「昭和三十年六月十九日 静照院日辰上人 十三周忌」と記された封筒に入られている。	10073
88	-	水墨画	「建立常然無」 富士山の墨絵	10116
89	-	パンフレット	イタリア歌劇「ファウスト」のパンフレット裏に示された英文メモ。観劇に関するメモか。	SS0121
90	-	パンフレット	イタリア歌劇「リゴレット」のパンフレット。英文のメモがある。	SS0123
91	-	名刺集	静坐社に保管されていた名刺	10001
92	-	メッセージカード	アメリカ製 福沢嶋子から小林厚子に送られたもの	10142
93	-	メモ	英文のメモ。	10048
94	-	メモ	英文。海外の観光客用のメモか？	SS0258
95	-	メモ	英文。カードゲーム・ピノクルの説明。	SS0259